

いい日旅立ち

オープンスクール等のご案内

【第一学院高等学校】＝オープンスクール&学校説明会（対象＝生徒・保護者）

第一学院高校のオープンスクール&学校説明会が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和 6年 7月 6日（土）、 7月20日（土）、 8月 3日（土）、
8月24日（土）、 9月21日（土）

※いずれも13：00～15：00

- ②場所 第一学院高校（札幌市北区北7条西4丁目4-1 第五北海道通信ビル5階）

- ③電話 011-756-8588

オープンスクール&学校説明会の参加希望者は、上記の電話（番号）より各自で申し込みください。（中学校への連絡は不要です。）

【三笠高等学校】＝体験実習会（対象＝中学生）

三笠高校の体験実習会が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和6年 7月30日（火）第1部 9：10～12：05（受付 9：00～）
第2部 13：15～16：10（受付13：05～）

- ②会場 三笠高校、三笠高校生レストラン

- ③留意
- ・ 定員は第1部Aコース（調理）18名、Bコース（製菓）24名、第2部Cコース（調理）30名、Dコース（製菓）24名です。
定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。
 - ・ 参加費用は無料です。エプロン、三角巾、上履き、上履き入れ、飲み物、筆記用具をお持ちください。服装は腕まくりのできる動きやすいものを着用してください。Tシャツや中学校の指定ジャージ等でも構いません。
 - ・ URLは <https://forms.gle/J3Bn4U15TG8WvLww7> です。

体験実習会の参加希望者は、上記③に記されたURLからお申し込みください。

受付期間は7月1日（月）9：00～7月3日（水）16：00です。

（中学校への連絡は不要です。）

●「進路のしおり」が配布されております！

3年生全員に「進路のしおり」を配布済みです。家庭保管していただき、進路学活等、必要に応じて学校に持ってくるように指導しております。

288ページもあり、読み応えのあるしおり（冊子）となっておりますので、保護者の皆様も（お子様から借りて、）ぜひ目を通していただきたいと思います。

私立高校特待・奨学生一覧⑫＝最終回

欠席日数等によって、条件をクリアしても「特待生」や「奨学生」を認められないこともあります。

高 校 名	種 類	内 容	コ ー ス ・ 条 件 等
酪農学園大学附属 とわの森三愛 (B日程)	成績特待	入学金全額免除 &年間120,000円を限度に支給	①特進 GROW - UP コース・Cランク以上 ②総合進学コース、フードクリエイトコース・Bランク以上
	成績特待	入学金全額免除 &年間60,000円を限度に支給	①総合進学コース、フードクリエイトコース・Cランク以上
	成績特待	年間60,000円を限度に支給	①特進 GROW - UP コース、総合進学コース、フードクリエイトコース・Dランク以上
	成績特待	入学金全額免除 &年間150,000円を限度に支給	①機農コース・Dランク以上
	成績特待	入学金130,000円 &年間100,000円を限度に支給	①機農コース・Eランク以上
	同窓生特待	入学金全額免除	①全コース・保護者が酪農学園の設置した学校を卒業した者
	農家子弟特待	入学金100,000円	①機農コース・保護者が農業従事者
	推薦・単願特待	入学金100,000円	①全コース・推薦、単願受験者
	単願特待	入学金60,000円	①通信制通学コース・単願受験者
	単願特待	入学金20,000円	①通信制通信コース・単願受験者
	トップアスリート健康特待	入学金全額免除 &年間120,000円を限度に支給	①トップアスリート健康コース・要相談(指定クラブ)・Cランク以上で実績あり
	トップアスリート健康特待	入学金130,000円 &年間120,000円を限度に支給	①トップアスリート健康コース・要相談(指定クラブ)・Eランク以上で実績あり

☕ coffee break 日本人の平均生涯賃金と平均生涯支出

2019年に望月歩さん主演の「五億円のじんせい」という映画が公開されました。その時の予告編を私は忘れられません。内容は「生まれてから死ぬまでにかかる金額(つまり平均生涯支出)約2億100万円、生まれてから死ぬまでに稼ぐ金額(つまり平均生涯賃金)約2億300万円…」というものでした。

予告編を見て、まず『生涯賃金は2億300万円が正しいのか?』と思い、調べることにしました。資料や学歴、家族構成等によって多少の違いはあったものの日本人の平均生涯賃金2億300万円というのは妥当のようでした。次に『平均生涯賃金2億300万円ー平均生涯支出2億100万円＝残金200万円は正しいのか?』と思い、調べることにしました。こちらも資料によって多少の違いはあるものの多くの文献において「日本人の平均生涯賃金と平均生涯支出は、ほぼ同額で収支はトントンである。」とされておりました。

人生設計や進路選択において、「日本人は2億円程度を働いて稼ぎだし、2億円程度を使用する。」と頭の片隅に置いておくのもよいことでしょう。